

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	子ども・子育て支援新制度利用者支援事業			事業番号	07-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	子ども部	高梨 剛	子ども育成課	宮川 章則	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち
		基本政策	2	子どもの成長をみんなで見守るまちづくり
		施策展開の方向	3	子どもを産み育てやすいまちをつくる
		施策	7	多様な働き方が選択できる保育の充実
予算事業名	利用者支援事業費			
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	義務づけ規定がある
事業開始年度	開始年度	平成27年度	～	終了年度
関連法令等	子ども・子育て支援法			
国・県の計画等	かながわ子どもみらいプラン	計画期間	令和2年度～令和6年度	
関連個別計画	第2期伊勢原市子ども・子育て支援事業計画	計画期間	令和2年度～令和6年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	児童の発達や養育力の低下、核家族化の進展による子育ての孤立化等、子育てを取り巻く環境が複雑、多様化している中、保護者から自分に合った子育て支援サービスに関するアドバイス、コーディネートを求める要望が増えてきています。			
目的 (何をどうしたいのか)	子ども・子育て支援専門員を配置することで、多様化する保育や子育て支援サービスの中から、各家庭の状況に応じた適切なサービスをコーディネートします。			
主な対象 (誰・何を対象に)	未就学児、小学生及びその保護者			
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する子育てや保育に関する相談に対応するため、専門知識の習得や資質の向上を継続的にを行います。 相談体制の拡充を図るため、土曜開庁日に合わせた窓口相談日等を設けます。 			
事業行程	項目	年度		
		令和3年度	令和4年度	
	子ども・子育て支援専門員の配置	2人	2人	
	相談箇所数	2箇所	2箇所	
目 標	【指標名】	【現状値】	年度	
			令和3年度	令和4年度
出張相談、休日・夜間相談の実施	2箇所 (令和2年度)	3箇所	3箇所	



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	保護者のニーズの把握に努め、教育・保育施設の案内や子育てに関する相談・アドバイス等きめ細やかなフォローを実施していきます。また、相談体制の拡充を図るため、入所時期に合わせて、土曜開庁日やオンラインによる窓口相談日等を設定していきます。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		令和3年度	令和4年度
	子ども・子育て支援専門員の配置	2人	2人
	相談箇所数	2箇所	2箇所
実施した取組の内容	子ども・子育て支援専門員「子育てコンシェルジュ」を2名配置し、市役所窓口をはじめ健康相談会場等の事業実施先やオンラインで、教育・保育施設の利用案内や子育て支援サービスに関する相談・アドバイス等、きめ細やかな相談を実施しました。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度
			令和3年度
	出張相談、休日・夜間相談の実施	2箇所 (令和2年度)	3箇所
		令和4年度	
		3箇所	

	年度		令和3年度 実績				令和4年度 実績				
内訳	事業費合計 (a)		6,836	千円	6,720	千円					
	内訳	国県支出金 ①		5,695	千円	5,600	千円				
		地方債 ②		0	千円	0	千円				
		その他特財 ③		0	千円	0	千円				
		一般財源 (a)-①-②-③		1,141	千円	1,120	千円				
国県支出金の内容		子ども・子育て支援交付金 補助率: 国2/3、県1/6、市1/6									
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		前回の改定時期						
		その他									
人件費	正規職員		0.1	人	818	千円	0.1	人	857	千円	
	その他の職員		0	人	0	千円	0	人	0	千円	
	人件費合計 (b)		0.1	人	818	千円	0.1	人	857	千円	
トータルコスト (a)+(b)				7,654	千円	7,577	千円				
単位当たりコスト	対象数	定義	相談等対応件数			単位	相談等対応件数			単位	
		対象数	2,622	件	2,526	件					
	総事業費 / 対象数	2,919	円	3,000	円						

評 価 (Check)				
進捗状況 [選択・記入]	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	利用者支援員(子育てコンシェルジュ)を2名配置し、様々な保育ニーズに対して、市役所窓口及び健康相談会場等の事業実施先で、相談・助言等を実施しました。また、コロナ禍での新しい相談のあり方を検討し、オンライン相談を受けられる体制づくりに努めました。
実施水準 [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	各自治体で、保育ニーズや保育の提供体制、地域性が異なるため比較は出来ません。
有効性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	保育ニーズや保護者が抱える不安等は異なることから、一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな対応が必要です。また、子育てを散り巻く環境が複雑、多様化している中、子育て支援サービスに関する情報提供を実施することで、孤立化の防止に役立っています。
効率性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である(C)	A	左記判断理由	健康相談会場等に出向き、保護者に身近な場所での適切な相談・助言等を行うとともに、必要に応じて関係機関との連絡・調整を行うことが出来ました。また、オンライン相談の体制づくり等、コロナ禍での対面によらない相談業務のあり方について、検討を実施しました。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)	
所管部長による総評	就学前の子どもの数は、減少していく見込みですが、子ども・子育て施策に対するニーズが多様化する中、本事業は重要かつ有効な事業です。今後も引き続き保護者のニーズを的確に捉え、子育て中の家庭に対して、必要な支援を検証するとともに、創意工夫が必要と考えます。